

法政大学大学院
入学試験問題用紙

試験科目	法学研究科 法律学専攻 修士課程《一般・外国人》 研修生	2026年度 春季	試験時間
外国語 (日本語)			90分

辞書参照 (可)・否)

[注 意] 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

以下の文章は、伊藤正己＝加藤一郎編『現代法学入門〔第4版〕』（有斐閣、2005年）からの抜粋である（同書7-11頁〔伊藤正己執筆〕）。この文章を読んで、以下の【設問】に答えなさい。

なお、解答にあたっては、本問が、法律学に関する知識や意見の内容の当否を評価するものではなく、日本語に関する読解力や文章力を問うものであることに留意すること。

法と社会秩序

われわれが社会において共同生活を営むときには、そこに一定の秩序を保つことが必要である。そしてこのような秩序を保つために、いかなる社会にあっても、その構成員が守らなければならない規範が存在する。(1)「社会あるところに法あり」という言葉は、このことをいいあらわしている。ここでいう法は、(2)近代国家の法のように体系づけられ、明確な強制力によって裏づけられたもののみではなく、広くその社会の秩序を正しく保持するのに必要な行為の基準を意味している。

最も小さな例をとるならば、2人で将棋をするという一時的な人間の結合を考えることができる。この結合が円滑に目的を達するためには、駒の動かし方のようなルールを双方が守ることが必要である。一方がそれを無視するようなことがあると、その小さな社会も崩壊することになる。そういう意味で一時的で、しかもわずかな人の作る社会であっても、守られねばならない規則があり、それがその社会を維持する基礎をなしている。これがもっと永続性をもつ人間関係（たとえば、夫婦）になると規則の必要度はさらに高まり、さらに多数人の構成する社会（学校、労働組合、会社など）にあつては、内部の秩序を保つための行為の基準が、いっそう強く要求されることになる。

とくに近代国家という社会になると、権力的な支配関係を含み、さらに構成員の間に血縁や地縁による結合がとぼしく、その目的も複合的なものであるだけに、規則、とくに権力による強制を予定された規則の重要性が大きい。近代国家は法によって組織され、規律されている社会といってもさしつかえない。

このようにして、人間の社会には、それを秩序正しく保持するための(3)行為規範が存在することになる。法はこの行為規範に含まれるものである。それでは、行為規範とはどのような意味をもっているか。

第1に、行為規範は、「かくあらねばならない」という当為の法則である。「人を殺してはならない」という規範の例からも明らかなように、その規範が存在するにもかかわらず、実際にその違反は生じうる。法にあつても未成年者飲酒禁止法があり、満20歳未満の者は酒を飲んではいけないという規範があるが、現実には必ずこれが守られているわけではない。当為の法則とは、このようによりよい世界の構図をえがくものであつて、現実と一致しない場合があるにもかかわらず妥当するので

法政大学大学院
入学試験問題用紙

試験科目	法学研究科 法律学専攻 修士課程《一般・外国人》 研修生	2026年度 春季	試験時間
外国語 (日本語)			90分

辞書参照 (可)・否)

[注 意] 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

ある。当為の法則に対して必然の法則があり、自然科学の法則は必然の法則に属する。それは、必ず生ずることを内容とし、現実と一致することによって妥当性をもつ。「人間はすべて死ななければならない」という法則を例にとってみても、このことは明らかである。法は行為規範として、当為の法則に属することをまず認めねばならない。

第2に、行為規範は人間の行為を規律するものである。当為の法則として一定の価値に関係をもつ規範であっても、直接に人間の行為に関連をもたないものがある。たとえば、審美法則や論理法則がそれである。もとよりこれらも広くいって、人間の精神活動の領域に関係する規範であるが、人の行為を直接に支配するものではない。審美法則は、美をいかに正しく感性において体験すべきかに関する規範であり、それに合致したものは美しいものといえ、芸術作品ならばすぐれたものといえる。これを研究する学問が美学である。論理法則は、人間の思考や判断が正しいかどうかを決定する規範であり、この法則を明らかにするのが論理学である。論理学には、人の思考や判断の正確さについて多くの法則がある。しかし、人はこの当為の法則につねに従って判断を行うわけではない。その場合には、その判断は正しいことが保証されないのである。法は、これらの規範と異なり、直接に人間の行為に関係する当為の法則に属するものである。

このようにして法は行為規範として、社会秩序の保持のために人間の行為のあるべき構図をえがくものであるが、けっして法のみが行為規範であるわけではない。われわれは社会生活において、多くの行為規範の規律をうけており、法はそのうちのひとつなのである。たとえば、借りた本を返すという行為をみても、その行為を命じている規範は、必ずしも法ではない。それを返さないと、裁判所に訴えられ、民事あるいは刑事の責任を負わなければならない、という意識によって強制されることはまれであろう。むしろ道徳その他の行為規範の指示によって、本を返すという行為をとるのである。

行為規範の諸形態

それではどのような行為規範が、われわれの生活のうちに存在しているか。ヴィノグラドフ (Vinogradoff, P.G. 1854-1925) によれば、つぎのようなものがあげられている。第1に、流行というものは、一面からみれば、ひとつの社会現象であるが、他面からみれば、われわれの行為を支配する規範としての性格をもつ。たとえばどのような服装をするかを決定する場合に、多くの人は流行というものを考えて行動することになる。第2に、われわれが共同生活をしている場合、どの行為が適当かを決定するのに大きな役割を果たす規範として風習がある。知人に出会ったときには挨拶をかわすという行為は、風習のひとつである。この風習は、流行のような外見の問題をこえた人間行動の

法政大学大学院
入学試験問題用紙

試験科目	法学研究科 法律学専攻 修士課程《一般・外国人》 研修生	2026年度 春季	試験時間
外国語 (日本語)			90分

辞書参照 (可・否)

[注 意] 解答は別紙の解答用紙に記入すること。

問題であり、その基礎には尊敬や友情のような感情が存在し、これによって社会の交渉を円滑にするもので、重要な社会規範といってもよい。第3に、ある集団内部のしきたりがある。かつての武士道といわれるものは、その典型的な例であり、武士階級に属する者は、たとえば、武士にあるまじき卑劣な行為をしてはならない、という強い義務づけを行う行為規範によってしばられていた。現在でも、一定の職業にともなうしきたり、ある集団の構成員の守るべき慣例的な規範が少なくない。第4に、道徳があり、これはいうまでもなく人間の良心に基礎をおき、何がよい行為かについて、基準を与える行為規範である。最後に法がある。このように、法は多種多様な行為規範とならんで、人間社会に秩序を与える機能を営んでいる。

これらの諸種の行為規範は、その目的も異なるが、人間の行為を規律する強制力にも差異がある。一般的にいて、上に述べた順序で強制力が大きくなるといつてよい。流行は、その命ずるところに従うことによって達する目的が、それほど重要性がなく、趣味的要素が強いから、これに従わなくても、それに対して加わる外部の圧力は比較的軽微である。風習になると、人間関係の円滑化という目的をもつから、その違反は、友人を失ったりするような仕返しをうけることになり、極端な場合には、いわゆる村八分といわれる組織的な制裁をうけ、社会で共同生活をするのが困難になることもありうる。さらに集団内部のしきたりになると、その集団の結合力が強いほど、その義務づけはきびしくなる。そのしきたりの目的が、まさにその構成員に義務を課し、集団を存続せしめるところにあるから、それは当然である。博徒仲間の仁義のようなしきたりは、その構成員に、たとえ法に反しても守らねばならない強い拘束力をもっていたといつてもよい。道徳になると、もっと広く、社会的重要性をもつことはいうまでもなく、道徳的義務づけの力が弱い社会は、無秩序におちいる可能性が大きい。人間としての良心にもとづく当為の規律の妥当の度合いが高められることによって、道徳の規範のもつ拘束力は強められる。最後に、法は、組織された力による最もきびしい義務づけを行う行為規範である。法は、各種の行為規範のうちで、最も強い強制力をもつものであるといつてことができる。

【設問】

- (1) 下線部(1)「『社会あるところに法あり』という言葉」は、どのような内容として用いられているか。ここでの「法」という用語の内容に留意しつつ、上記文章の内容に沿って説明しなさい。
- (2) 下線部(3)「行為規範」とは、どのような意味で用いられているか。上記文章の内容に沿って説明しなさい。
- (3) 行為規範としての法、また、そのうち下線部(2)「近代国家の法」とは、それぞれどのような性質を有するか。他の各種の行為規範と比較しながら、上記文章の内容に沿って説明しなさい。